

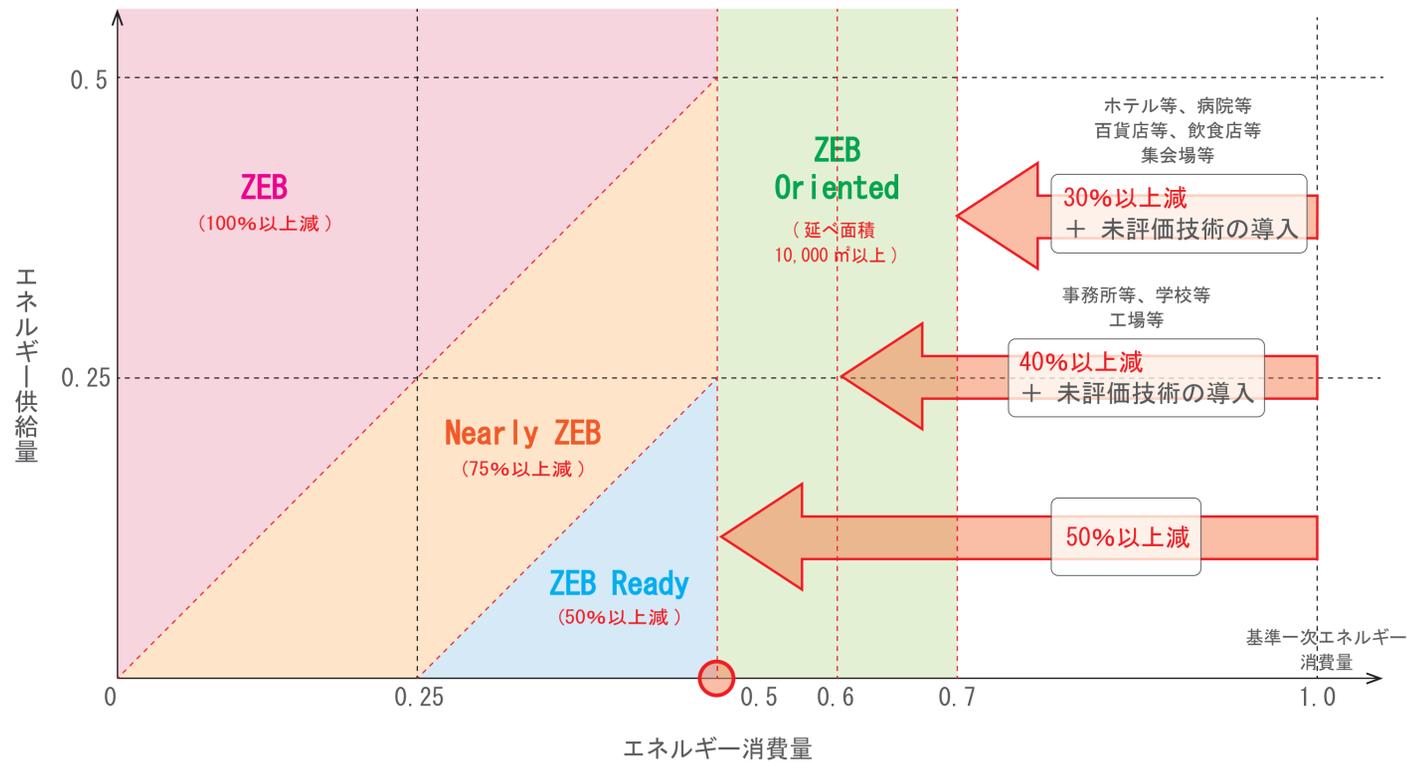
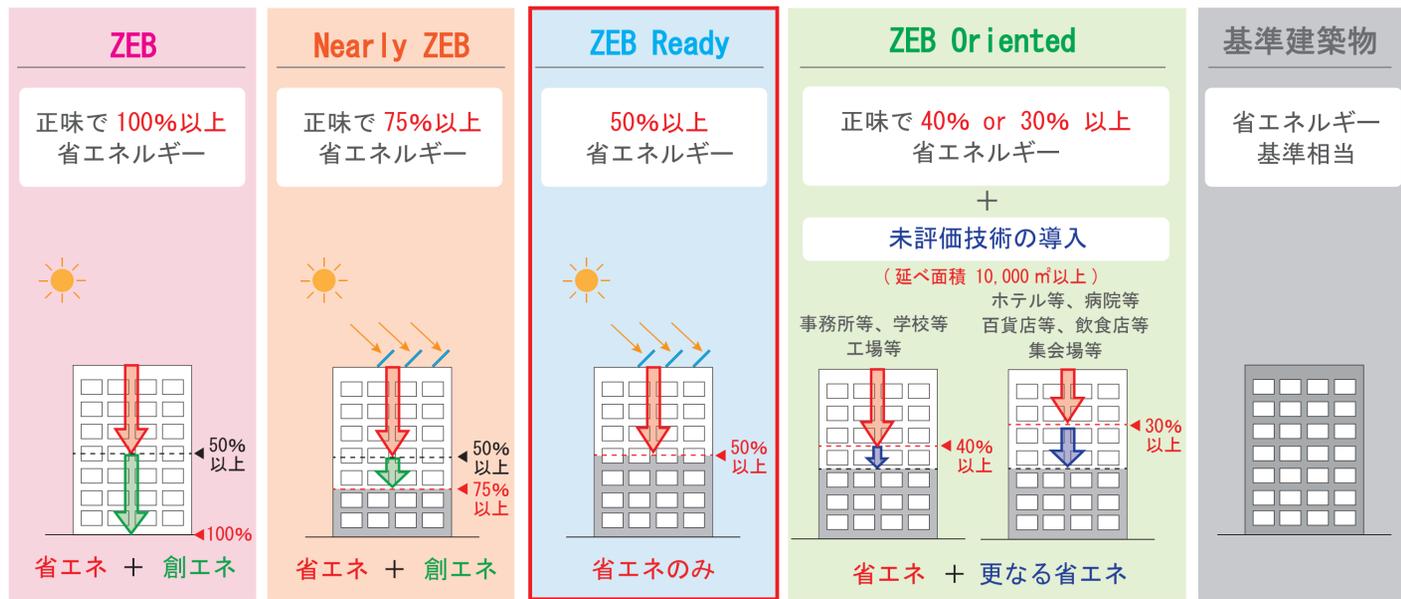
ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）

「ZEBの定義」

快適な室内空間を保ちながら、省エネと創エネによりエネルギー消費量を大幅に削減し、年間のエネルギー消費量を抑え、年間のエネルギー収支を±0（もしくは創エネ＞消費量）とする建築のこと。



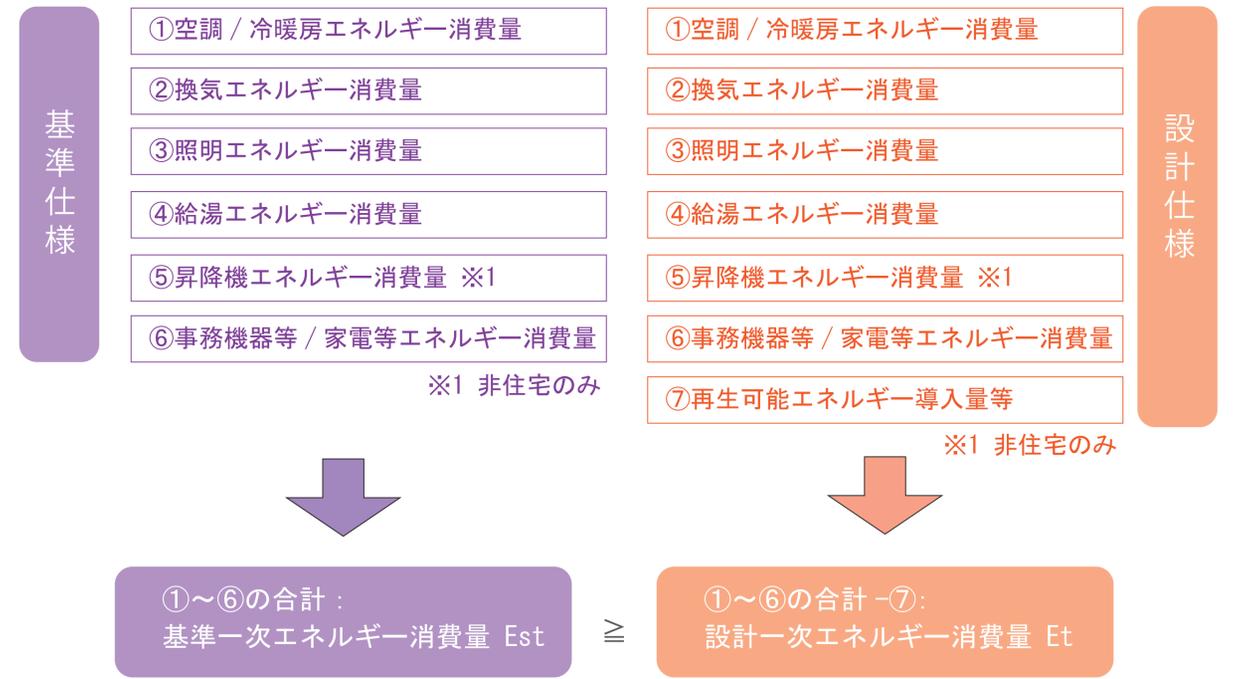
- ※1 省エネ対象設備は、空調・換気・照明・給湯・昇降機の5種類
- ※2 OA機器等がつながるコンセント他、上記設備以外は対象外
- ※3 省エネすることなく、創エネ（再エネ）だけで収支をゼロにすることは定義上認められない



「一次消費エネルギーの基準 BEI (Building Energy Index)」

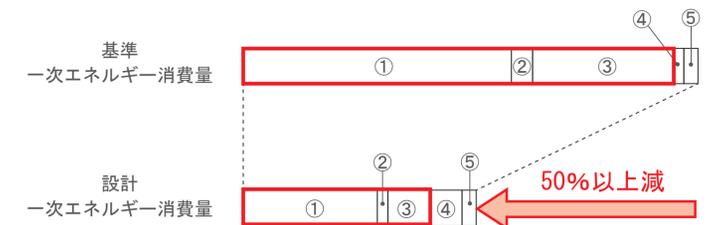
基準建築物と比較した時の設計建築物の一次エネルギー消費量の比率をBEIと言い、設計一次エネルギー（設計仕様）÷基準一次エネルギー消費量（基準仕様）で表される。BEIの数値が小さいほど省エネの程度が大きい。

$$BEI = \frac{\text{設計一次エネルギー消費量}}{\text{基準一次エネルギー消費量}}$$



「Zeb Readyの取得」

設計一次エネルギー消費量を、基準一次エネルギー消費量に対して50%削減し、BELS（建築物省エネルギー性能評価）において「Zeb Ready (BEI=0.50)」を認証取得しています。（2023年4月）



	基準	設計	BEI
BEI内訳	基準一次エネルギー消費量【GJ/年】	設計一次エネルギー消費量【GJ/年】	
①空調設備	1,315.27	704.47	0.54
②換気設備	98.80	36.49	0.37
③照明設備	629.95	198.03	0.32
④給湯設備	30.20	77.66	2.58
⑤昇降機	32.00	32.00	1.00
合計	2,106.22	1,048.65	0.50